

運用報告書（全体版）

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／株式
信託期間	2015年9月11日から2025年8月18日まで
投資方針	主として日本を除くアジア地域におけるインフラ関連企業の株式を主な投資対象とする投資信託証券に投資を行い、信託財産の成長を目指して運用を行います。
主 な 投資対象	外国投資法人「イーストスプリング・インベストメンツ - アジアン・インフラストラクチャー・エクイティ・ファンド」の投資証券（米ドル建て）およびわが国の証券投資信託「イーストスプリング国内債券ファンド（国債）追加型Ⅰ（適格機関投資家向け）」の受益証券（振替受益権を含みます。）を主要投資対象とします。
主 な 投資制限	投資信託証券への投資割合には制限を設けません。 外貨建資産への投資割合には制限を設けません。 株式への直接投資は行いません。
分配方針	（3ヵ月決算型） 原則として毎年2月、5月、8月、11月の各18日（休業日の場合は翌営業日） （年2回決算型） 原則として毎年2月18日および8月18日（休業日の場合は翌営業日） 各ファンドの決算時に、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して分配金額を決定します。分配対象額が少額の場合は、分配を行わないことがあります。

イーストスプリング・ アジア・インフラ株式ファンド （3ヵ月決算型）／（年2回決算型）

（3ヵ月決算型）第1作成期

第1期（決算日 2015年11月18日）

第2期（決算日 2016年2月18日）

（年2回決算型）

第1期（決算日 2016年2月18日）

受益者の皆様へ

平素は格別のお引立てにあずかり厚くお礼申し上げます。

さて、「イーストスプリング・アジア・インフラ株式ファンド（3ヵ月決算型）／（年2回決算型）」は、2016年2月18日に決算を行いましたので、ここに各期中の運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますよう、お願い申し上げます。

イーストスプリング・インベストメンツ株式会社

【お問い合わせ先】

電話番号：03-5224-3400

（受付時間は営業日の午前9時から午後5時まで）

ホームページアドレス：<http://www.eastspring.co.jp/>

〒100-6905

東京都千代田区丸の内2-6-1丸の内パークビルディング

イーストスプリング・アジア・インフラ株式ファンド（3カ月決算型）

設定以来の運用実績

決 算 期		基準価額 (分配額)	税 込		投資信託 証券 組入比率	純 資 産 額
			分配金	期 中 騰 落 率		
第 1 作 成 期	(設 定 日) 2015年9月11日	円 10,000	円 —	% —	% —	百万円 1
	1 期 (2015年11月18日)	10,221	0	2.2	98.3	1
	2 期 (2016年2月18日)	8,752	0	△14.4	98.0	0.875209

(注1) 設定日の基準価額および純資産総額には、当初元本を用いております。

(注2) 当ファンドは公表されている適切な指標が存在しないためベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

当作成期中の基準価額等の推移

決算期	年 月 日	基 準 価 額		投 資 信 託 証 券 組 入 比 率
		騰 落 率	騰 落 率	
第 1 期	(設 定 日) 2015年9月11日	円 10,000	% —	% —
	9 月 末	9,554	△ 4.5	97.9
	10 月 末	10,491	4.9	98.2
	(期 末) 2015年11月18日	10,221	2.2	98.3
第 2 期	(期 首) 2015年11月18日	10,221	—	98.3
	11 月 末	10,032	△ 1.8	98.0
	12 月 末	9,663	△ 5.5	98.0
	2016年1月 末	9,113	△10.8	98.0
	(期 末) 2016年2月18日	8,752	△14.4	98.0

(注1) 騰落率は期首比（第1期は設定日比）です。

(注2) 設定日の基準価額には当初元本を用いております。

(注3) 当ファンドは公表されている適切な指標が存在しないためベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

設定以来の運用実績

決 算 期	基 準 価 額 (分 配 落)	税 込	期 中	投資信託 証 券 組入比率	純 資 産 総 額
		分 配 金	騰 落 率		
(設 定 日) 2015年9月11日	円 10,000	円 —	% —	% —	百万円 1
1 期 (2016年2月18日)	8,752	0	△12.5	98.0	0.875204

(注1) 設定日の基準価額および純資産総額には、当初元本を用いております。

(注2) 当ファンドは公表されている適切な指標が存在しないためベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

当期中の基準価額等の推移

年 月 日	基 準 価 額	騰 落 率	投資信託 証 券 組入比率
(設 定 日) 2015年9月11日	円 10,000	% —	% —
9 月 末	9,554	△ 4.5	97.9
10 月 末	10,491	4.9	98.2
11 月 末	10,032	0.3	98.0
12 月 末	9,663	△ 3.4	98.0
2016年1月末	9,113	△ 8.9	98.0
(期 末) 2016年2月18日	8,752	△12.5	98.0

(注1) 騰落率は設定日比です。

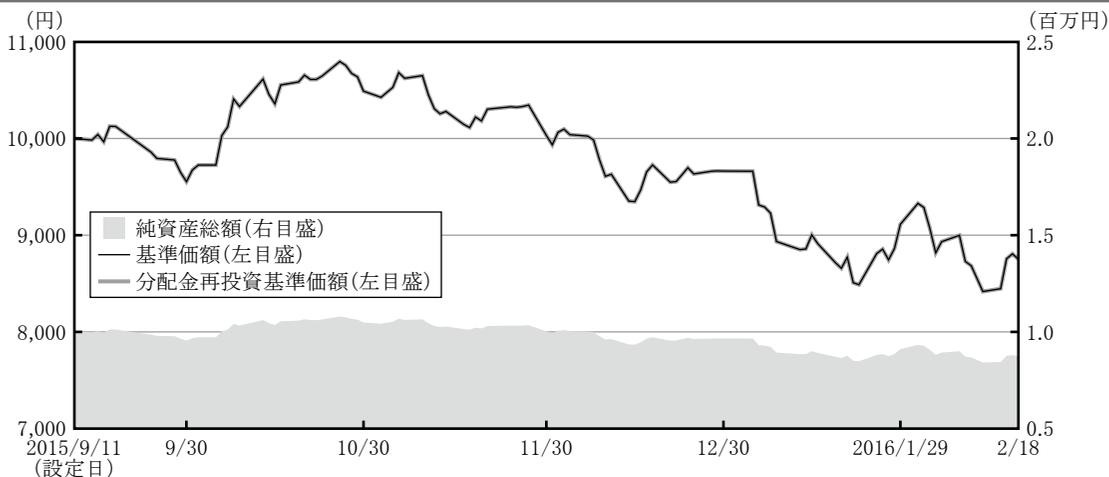
(注2) 設定日の基準価額には当初元本を用いております。

(注3) 当ファンドは公表されている適切な指標が存在しないためベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

運用経過

（3カ月決算型）

基準価額等の推移について（第1期～第2期：2015年9月11日から2016年2月18日まで）



設定日	10,000円
第2期末	8,752円 (既払分配金0円)
騰落率	△12.5% (分配金再投資ベース)

(注1) 分配金再投資基準価額は、収益分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注2) 分配金を再投資するかどうかについては、お客様がご利用のコースにより異なり、また、ファンドの購入価額により課税条件も異なりますので、お客様の損益の状況を示すものではありません。

(注3) 最初の分配金が出るまでの期間においては、基準価額を示す折れ線と分配金再投資基準価額を示す折れ線は重なって表示されます。

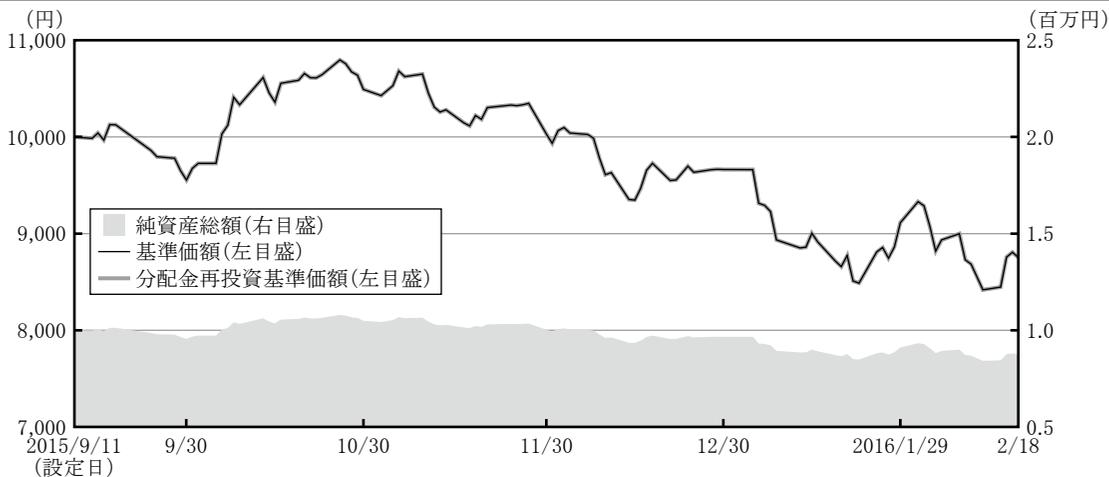
(注4) 設定日の基準価額および純資産総額は、当初元本を用いています。

基準価額の主な変動要因

中国の景気減速懸念や原油価格下落を受けた産油国の投資資金引き揚げ懸念に加えて、米国などの先進国経済に対する不透明感を背景に世界的なリスク回避姿勢が強まったことで、アジアの株式市場が下落し、円高となったことから基準価額は下落しました。

（年2回決算型）

基準価額等の推移について（第1期：2015年9月11日から2016年2月18日まで）



(注1) 分配金再投資基準価額は、収益分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注2) 分配金を再投資するかどうかについては、お客様がご利用のコースにより異なり、また、ファンドの購入価額により課税条件も異なりますので、お客様の損益の状況を示すものではありません。

(注3) 最初の分配金が出るまでの期間においては、基準価額を示す折れ線と分配金再投資基準価額を示す折れ線は重なって表示されます。

(注4) 設定日の基準価額および純資産総額は、当初元本を用いています。

基準価額の主な変動要因

中国の景気減速懸念や原油価格下落を受けた産油国の投資資金引き揚げ懸念に加えて、米国などの先進国経済に対する不透明感を背景に世界的なリスク回避姿勢が強まったことで、アジアの株式市場が下落し、円高となったことから基準価額は下落しました。

投資環境について

○海外株式市況

アジア株式市場は、設定当初から2015年年末にかけて米国の利上げ開始時期を巡る憶測に影響を受けました。2015年10月は利上げ開始の後ずれ観測から株価は上昇したものの、翌11月には年内利上げ観測が高まって下落しました。結局、12月に米国は利上げ開始を発表しましたが、利上げの速度は緩やかになるとの期待から年末にかけて一時反発する局面もありました。2016年に入ってから中国の景気減速懸念に加え、原油価格下落を受けた産油国の投資資金引き揚げ懸念から株価は下落しました。その後、欧州の追加緩和期待などを受けて一時反発したものの、2月には米国など先進国経済に対する不透明感を背景に世界的にリスク回避姿勢が強まり株価は下落しました。

○為替市況

アジア通貨は米ドルに対してまちまちな動きとなりましたが、世界的なリスク回避姿勢の強まりから円が上昇したため、対円では概ねアジア通貨は下落しました。

○国内債券市況

中国の景気減速懸念を背景とした世界的なリスク回避姿勢の強まりから、各国債券市場で国債を買う動きが優勢となり、債券利回りは低下（価格は上昇）しました。さらに2016年1月の日銀によるマイナス金利導入の決定を受けて利回りは大きく低下しました。

ポートフォリオについて

○イーストスプリング・アジア・インフラ株式ファンド(3ヵ月決算型)／(年2回決算型)

主要な投資対象の一つであるイーストスプリング・インベストメンツ - アジアン・インフラストラクチャー・エクイティ・ファンド(以下「アジア・インフラ・エクイティ」ということがあります。)の組入比率を高位に保つよう運用しました。

○アジア・インフラ・エクイティ

日本を除くアジア地域におけるインフラ関連企業の株式に投資を行い、長期的な値上がり益の獲得を目指して運用を行いました。個別銘柄調査とバリュエーションを重視し、市場全体およびセクター内で割安に評価されている銘柄を中心に投資を行い、割高となった銘柄の組入れを減らしました。当(作成)期は、国内における建設需要低下やセメント価格の低迷を受けて下落した中国の素材株や、原油安を受けて中東事業の売上低迷などが嫌気され下落したインドの資本財株の保有がマイナス要因となりました。一方で、国内の競争緩和により収益の改善が見られたインドネシアの大手通信株や、原油安で石油精製事業の収益性改善が好感された韓国のエネルギー株などの保有がプラス要因となりました。

○イーストスプリング国内債券ファンド(国債)追加型I(適格機関投資家向け)

主としてデュレーションをコントロールすることによって、ベンチマークであるBofAメリルリンチ国債インデックス(1-10年債)を上回ることを目指して運用を行いました。デュレーションを概ね長めに維持し、長期の債券の金利低下が大きかったことからパフォーマンスにプラスに寄与しました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドの運用の基本方針に適合した、公表されている指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

分配金について

分配金額は、基準価額水準・市況動向等を勘案して、以下の通りとさせていただきます。なお、留保益の運用につきましては、特に制限を設けず、元本部分と同一の運用を行います。

（3ヵ月決算型）

分配原資の内訳

（1万口当たり、税引前）

項目		第1期	第2期
		2015年9月11日 ～2015年11月18日	2015年11月19日 ～2016年2月18日
当期分配金	(円)	—	—
(対基準価額比率)	(%)	—	—
当期の収益	(円)	—	—
当期の収益以外	(円)	—	—
翌期繰越分配対象額	(円)	221	221

(注1)「当期の収益」と「当期の収益以外」は円未満は切捨てて表示しているため、合計が「当期分配金」と一致しない場合があります。

(注2) 当期分配金の「対基準価額比率」は当期分配金(税引前)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注3) —印は該当がないことを示しています。

（年2回決算型）

分配原資の内訳

（1万口当たり、税引前）

項目		第1期
		2015年9月11日 ～2016年2月18日
当期分配金	(円)	—
(対基準価額比率)	(%)	—
当期の収益	(円)	—
当期の収益以外	(円)	—
翌期繰越分配対象額	(円)	—

(注1)「当期の収益」と「当期の収益以外」は円未満は切捨てて表示しているため、合計が「当期分配金」と一致しない場合があります。

(注2) 当期分配金の「対基準価額比率」は当期分配金(税引前)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注3) —印は該当がないことを示しています。

今後の運用方針について

○イーストスプリング・アジア・インフラ株式ファンド(3ヵ月決算型)／(年2回決算型)

主要な投資対象の一つであるアジア・インフラ・エクイティの組入比率を高位に保つことを基本とします。

○アジア・インフラ・エクイティ

アジア地域における社会インフラの整備は、地域の人口増加、経済成長のスピードに見合っておらず、遅れていると言われています。今後もアジア地域の生活水準の向上や都市化の進展が見込まれる中、ますます社会インフラの整備が必要不可欠となることから、インフラ投資需要の高い伸びが期待されています。また、中長期的にアジア地域がひとつの商業圏となり、モノやヒトの移動が起こることで、国を跨いだインフラ投資の必要性も高まるものと思われれます。

アジア株式市場は、引き続き先進国や中国の景気動向などの影響を受ける局面が見込まれますが、製品在庫サイクルなどの景気循環に起因する短期的なものか、あるいは構造的な理由に起因する長期にわたるものかを見極めることが大事だと考えています。今後もインフラ関連企業の中から長期的な利益水準と照らし合わせて割安な銘柄への選別投資を行って参ります。

○イーストスプリング国内債券ファンド(国債)追加型 I (適格機関投資家向け)

今後もファンダメンタルズ分析、金利動向予測、イールドカーブ分析等を行いベンチマークであるBofAメリルリンチ国債インデックス(1-10年債)を中長期的に上回ることを目指した運用を行っていく所存です。

1万口当たりの費用明細

項目	第1期～第2期 2015/9/11 ～2016/2/18		項目の概要
	金額	比率	
(a) 信託報酬	58円	0.596%	(a) 信託報酬＝作成期間の平均基準価額×信託報酬率 作成期間の平均基準価額は、9,770円です。
（投信会社）	（ 20）	（0.202）	委託した資金の運用の対価 交付運用報告書等各种書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価 運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
（販売会社）	（ 37）	（0.380）	
（受託会社）	（ 1）	（0.014）	
(b) その他費用	221	2.262	(b) その他費用＝作成期間のその他費用÷作成期間の平均受益権口数
（監査費用）	（ 5）	（0.051）	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（その他）	（216）	（2.211）	信託管理事務にかかる手数料
合計	279	2.858	

- (注1) 作成期間の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。
(注2) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。
(注3) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。
(注4) 各項目の費用は、当ファンドが組入れている投資信託証券が支払った費用を含みません。

売買及び取引の状況（2015年9月11日から2016年2月18日まで）

投資信託受益証券、投資証券

		買 付		売 付	
		口 数	金 額	口 数	金 額
国内	イーストスプリング国内債券ファンド (国債) 追加型 I (適格機関投資家向け)	千口	千円	千口	千円
		0.921	1	—	—
外国	ルクセンブルク イーストスプリング・インベストメンツ - アジア・インフラストラクチャー・ エクイティ・ファンド	千口	千米ドル	千口	千米ドル
		0.821	8	0.019	0.2

(注) 金額は受渡し代金です。

利害関係人との取引状況等（2015年9月11日から2016年2月18日まで）

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

(注) 利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

自社による当ファンドの設定・解約状況（2015年9月11日から2016年2月18日まで）

設定時残高 (元本)	当作成期設定 元本	当作成期解約 元本	作成期末残高 (元本)	取引の理由
百万円 1	百万円 -	百万円 -	百万円 1	当初設定時における取得

組入資産の明細

(2016年2月18日現在)

(1) ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

ファンド名	当 作 成 期 末 (第 2 期 末)		
	口 数	評 価 額	比 率
イーストスプリング国内債券ファンド (国債) 追加型 I (適格機関投資家向け)	千口 0.921	千円 1	% 0.1
合 計	0.921	1	0.1

(注1) 比率欄は、純資産総額に対する評価額の比率です。

(注2) 評価額の単位未満は切捨てです。

(2) ファンド・オブ・ファンズが組入れた外貨建ファンドの明細

ファンド名	当 作 成 期 末 (第 2 期 末)			
	口 数	評 価 額		比 率
		外貨建金額	邦貨換算金額	
(ルクセンブルグ) イーストスプリング・インベストメンツ - アジアン・ インフラストラクチャー・エクイティ・ファンド	千口 0.801	千米ドル 7	千円 857	% 97.9
合 計	0.801	7	857	97.9

(注1) 邦貨換算金額は当作成期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注2) 比率欄は、純資産総額に対する評価額の比率です。

(注3) 評価額の単位未満は切捨てです。

投資信託財産の構成

(2016年2月18日現在)

項 目	当 作 成 期 末 (第 2 期 末)	
	評 価 額	比 率
	千円	%
投 資 信 託 受 益 証 券	1	0.1
投 資 証 券	857	97.5
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	20	2.4
投 資 信 託 財 産 総 額	878	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨てです。

(注2) 外貨建純資産（857千円）の投資信託財産総額（878千円）に対する比率は97.5%です。

(注3) 外貨建資産は、当作成期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、2016年2月18日における邦貨換算レートは、1米ドル=113.97円です。

資産、負債、元本及び基準価額の状況

(2015年11月18日)(2016年2月18日)現在

項 目	第 1 期 末	第 2 期 末
(A) 資 産	1,024,892円	878,877円
コール・ローン等	20,440	20,820
投資信託受益証券(評価額)	1,000	1,009
投資証券(評価額)	1,003,452	857,048
(B) 負 債	2,776	3,668
未払信託報酬	2,572	3,168
その他未払費用	204	500
(C) 純資産総額(A-B)	1,022,116	875,209
元 本	1,000,000	1,000,000
次期繰越損益金	22,116	△ 124,791
(D) 受 益 権 総 口 数	1,000,000口	1,000,000口
1万口当たり基準価額(C/D)	10,221円	8,752円

(注1) 元本の状況

第1期首元本額 1,000,000円

第1～2期中追加設定元本額 0円

第1～2期中一部解約元本額 0円

(注2) 上記表中の次期繰越損益金がマイナス表示の場合は、当該金額が投資信託財産の計算に関する規則第55条の6第10号に規定する額（元本の欠損）となります。

損益の状況

第1期(自2015年9月11日 至2015年11月18日)
第2期(自2015年11月19日 至2016年2月18日)

項 目	第 1 期	第 2 期
(A) 配 当 等 収 益	1円	-円
受 取 利 息	1	-
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	24,891	△121,843
売 買 益	24,891	368
売 買 損	-	△122,211
(C) 信 託 報 酬 等	△ 2,776	△ 25,064
(D) 当 期 損 益 金 (A+B+C)	22,116	△146,907
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	-	22,116
(F) 合 計 (D+E)	22,116	△124,791
(G) 収 益 分 配 金	0	0
次 期 繰 越 損 益 金 (F+G)	22,116	△124,791
分 配 準 備 積 立 金	22,116	22,116
繰 越 損 益 金	-	△146,907

(注1) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は各期末の評価換えによるものを含みます。

(注2) 損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注3) 分配金の計算過程

第1期 計算期間末における費用控除後の配当等収益(1円)、費用控除後の有価証券売買等損益(22,115円)より、分配対象収益は22,116円(10,000口当たり221円)ですが、当計算期間に分配した金額はありません。

第2期 計算期間末における費用控除後の配当等収益(0円)、費用控除後の有価証券売買等損益(0円)、および分配準備積立金(22,116円)より、分配対象収益は22,116円(10,000口当たり221円)ですが、当計算期間に分配した金額はありません。

分配金のお知らせ

当作成期の分配金は基準価額水準および市況動向等を勘案し、見送らせていただきました。

復興特別所得税について

2013年1月1日から2037年12月31日までの間、普通分配金並びに解約時又は償還時の差益に対し、所得税額に対して2.1%の税率で復興特別所得税が付加されます。

※上記は、当ファンドの直近決算日時点のもので、今後税法が改正された場合等には税率等が変更される場合があります。

※法人の受益者に対する課税は異なります。

※税金の取扱いの詳細については、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

お知らせ

該当事項はありません。

1万口当たりの費用明細

項目	当期 2015/9/11 ～2016/2/18		項目の概要
	金額	比率	
(a) 信託報酬	58円	0.596%	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は、9,770円です。
（投信会社）	（ 20）	（0.202）	委託した資金の運用の対価 交付運用報告書等各种書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価 運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
（販売会社）	（ 37）	（0.380）	
（受託会社）	（ 1）	（0.014）	
(b) その他費用	221	2.262	(b) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（監査費用）	（ 5）	（0.051）	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（その他）	（216）	（2.211）	信託管理事務にかかる手数料
合計	279	2.858	

(注1) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(注4) 各項目の費用は、当ファンドが組入れている投資信託証券が支払った費用を含みません。

売買及び取引の状況（2015年9月11日から2016年2月18日まで）

投資信託受益証券、投資証券

		買 付		売 付	
		口 数	金 額	口 数	金 額
国内	イーストスプリング国内債券ファンド （国債）追加型 I（適格機関投資家向け）	千口 0.921	千円 1	千口 —	千円 —
外国	ルクセンブルク イーストスプリング・インベストメンツ - アジア・インフラストラクチャー・ エクイティ・ファンド	千口 0.821	千米ドル 8	千口 0.019	千米ドル 0.2

(注) 金額は受渡し代金です。

利害関係人との取引状況等（2015年9月11日から2016年2月18日まで）

当期中における利害関係人との取引はありません。

(注) 利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

自社による当ファンドの設定・解約状況（2015年9月11日から2016年2月18日まで）

設定時残高 (元本)	当期設定 元本	当期解約 元本	期末残高 (元本)	取引の理由
百万円 1	百万円 -	百万円 -	百万円 1	当初設定時における取得

組入資産の明細

(2016年2月18日現在)

(1) ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

ファンド名	当 期 末		
	口 数	評 価 額	比 率
イーストスプリング国内債券ファンド (国債) 追加型 I (適格機関投資家向け)	千口 0.921	千円 1	% 0.1
合 計	0.921	1	0.1

(注1) 比率欄は、純資産総額に対する評価額の比率です。

(注2) 評価額の単位未満は切捨てです。

(2) ファンド・オブ・ファンズが組入れた外貨建ファンドの明細

ファンド名	当 期 末			
	口 数	評 価 額		比 率
		外貨建金額	邦貨換算金額	
(ルクセンブルグ) イーストスプリング・インベストメンツ - アジアン・ インフラストラクチャー・エクイティ・ファンド	千口 0.801	千米ドル 7	千円 857	% 97.9
合 計	0.801	7	857	97.9

(注1) 邦貨換算金額は期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注2) 比率欄は、純資産総額に対する評価額の比率です。

(注3) 評価額の単位未満は切捨てです。

投資信託財産の構成

（2016年2月18日現在）

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
投 資 信 託 受 益 証 券	1	0.1
投 資 証 券	857	97.2
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	23	2.7
投 資 信 託 財 産 総 額	881	100.0

（注1）評価額の単位未満は切捨てです。

（注2）外貨建純資産（857千円）の投資信託財産総額（881千円）に対する比率は97.2%です。

（注3）外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、2016年2月18日における邦貨換算レートは、1米ドル=113.97円です。

資産、負債、元本及び基準価額の状況

（2016年2月18日現在）

項 目	当 期 末
(A) 資 産	881,449円
コール・ローン等	23,392
投資信託受益証券(評価額)	1,009
投資証券(評価額)	857,048
(B) 負 債	6,245
未払信託報酬	5,745
その他未払費用	500
(C) 純資産総額(A-B)	875,204
元 本	1,000,000
次期繰越損益金	△ 124,796
(D) 受益権総口数	1,000,000口
1万口当たり基準価額(C/D)	8,752円

（注1）元本の状況

期首元本額 1,000,000円

期中追加設定元本額 0円

期中一部解約元本額 0円

（注2）上記表中の次期繰越損益金がマイナス表示の場合は、当該金額が投資信託財産の計算に関する規則第55条の6第10号に規定する額（元本の欠損）となります。

損益の状況

当期（自2015年9月11日 至2016年2月18日）

項 目	当 期
(A) 配 当 等 収 益	1円
受 取 利 息	1
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	△ 96,952
売 買 益	944
売 買 損	△ 97,896
(C) 信 託 報 酬 等	△ 27,845
(D) 当期損益金(A+B+C)	△124,796
(E) 合 計(D)	△124,796
(F) 収 益 分 配 金	0
次期繰越損益金(E+F)	△124,796

（注1）損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

（注2）損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

（注3）分配金の計算過程
計算期間末における費用控除後の配当等収益（0円）、費用控除後の有価証券売買等損益（0円）より、分配対象収益は0円（10,000口当たり0円）ですが、当期に分配した金額はありません。

分配金のお知らせ

当期の分配金は基準価額水準および市況動向等を勘案し、見送らせていただきました。

復興特別所得税について

2013年1月1日から2037年12月31日までの間、普通分配金並びに解約時又は償還時の差益に対し、所得税額に対して2.1%の税率で復興特別所得税が付加されます。

※上記は、当ファンドの直近決算日時点のもので、今後税法が改正された場合等には税率等が変更される場合があります。

※法人の受益者に対する課税は異なります。

※税金の取扱いの詳細については、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

お知らせ

該当事項はありません。

<参考情報>

■投資対象とする投資信託証券の仕組み

ファンド名	イーストスプリング・インベストメンツ - アジアン・インフラストラクチャー・エクイティ・ファンドクラスJ	
形態	ルクセンブルグ籍外国投資法人/オープン・エンド型	
表示通貨	米ドル	
運用の基本方針	主として日本を除くアジア地域におけるインフラ関連企業の株式を主な投資対象とする投資信託証券に投資を行い、信託財産の成長を目指して運用を行います。	
主な投資対象	日本を除くアジア地域において設立または上場しているインフラ関連事業を営む企業、ならびに日本を除くアジア地域において主にインフラ関連事業を展開している企業の株式および株式関連商品	
ベンチマーク	ありません。	
ファンドの関係法人	運用会社	イーストスプリング・インベストメンツ (シンガポール) リミテッド
	管理会社	イーストスプリング・インベストメンツ (ルクセンブルグ) S.A.
申込手数料	ありません。	
運用報酬	年率0.425%	
管理費用等	年率0.2%程度	
その他の費用・手数料	組入価証券の売買時の売買委託手数料等がかかります。	
設立日	2007年10月1日	
決算日	毎年12月31日	

ファンド名	イーストスプリング国内債券ファンド (国債) 追加型 I (適格機関投資家向け)	
形態	国内籍証券投資信託/適格機関投資家私募	
表示通貨	日本円	
運用の基本方針	わが国の国債を中心に、国債、政府保証債、地方債等の公共債を主要投資対象とし、安定した収益の確保と信託財産の中長期的な成長を目指した運用を行います。	
主な投資対象	日本の国債、政府保証債、地方債	
ベンチマーク	BofAメリルリンチ国債インデックス (1-10年債) ※	
ファンドの関係法人	委託会社	イーストスプリング・インベストメンツ株式会社
	投資顧問会社	イーストスプリング・インベストメンツ (シンガポール) リミテッド
	受託会社	三菱UFJ信託銀行株式会社
主な投資制限	<ul style="list-style-type: none"> ・株式 (新株引受権証券および新株予約権証券を含みます。) への投資割合は、取得時において信託財産の純資産総額の5%以下とします。 ・投資信託証券への投資割合は、信託財産の純資産総額の5%以下とします。 ・外貨建資産への投資には、制限を設けません。 	
手数料等	申込手数料	ありません。
	信託報酬	年率0.216% (税抜0.2%)
	監査費用、有価証券売買時の売買委託手数料等がかかります。	
信託設定日	2002年8月26日	
決算日	毎年2月25日 (休業日の場合は翌営業日)	

※ バンクオブアメリカ・メリルリンチは、バンクオブアメリカ・メリルリンチのインデックスを何ら変更することなく使用することを許諾しており、バンクオブアメリカ・メリルリンチのインデックスに関し何らの表明をするものではなく、バンクオブアメリカ・メリルリンチのインデックスまたはそれに含まれ、関連もしくは得られるデータの適合性、内容、正確性、適時性および完全性について保証するものではありません。また、バンクオブアメリカ・メリルリンチはイーストスプリング・インベストメンツ株式会社によるバンクオブアメリカ・メリルリンチのインデックスの使用に関し一切の責任を負うものではなく、イーストスプリング・インベストメンツ株式会社またはその商品またはサービスについて何らの支持、是認または推奨をするものではありません。

「イーストスプリング・アジア・インフラ株式ファンド（3ヵ月決算型）／（年2回決算型）」が主要投資対象とする「イーストスプリング・インベストメンツ - アジアン・インフラストラクチャー・エクイティ・ファンド」の運用状況をご報告申し上げます。法令等に則り、2014年12月31日を基準日とするAnnual Report（監査済み）を基に、委託会社が抜粋、翻訳し、運用状況を作成しております。

イーストスプリング・インベストメンツ - アジアン・インフラストラクチャー・エクイティ・ファンド

■運用計算書および純資産変動計算書

	2014年12月31日に終了した事業年度 金額（米ドル）
期初純資産	37,523,657
収益	
配当金	951,667
預金利息	3
有価証券品貸料	974
収益合計	952,644
費用	
運用報酬	417,562
管理費用	108,773
保管銀行費用	16,063
取引手数料	15,672
管理・名義書換代行事務費用	27,333
監査費用、公告・印刷費用	579
税金	11,757
借越利息	4,497
役員報酬	181
その他費用	39,429
費用合計	641,846
純投資収益（損）	310,798
投資有価証券の売却にかかる実現純利益（損）	(323,055)
外国為替にかかる実現純利益（損）	2,455
実現純利益（損）	(320,600)
投資有価証券にかかる未実現評価益（損）の変動額	(297,934)
外国為替にかかる未実現評価益（損）の変動額	(551)
未実現評価益（損）の純変動額	(298,485)
運用による純資産の純増加額（減少額）	(308,287)
資本金の変動	
投資証券の発行	3,124,947
投資証券の解約	(11,383,399)
当期の純資産の変動額	(8,566,739)
期末純資産	28,956,918

■投資有価証券明細（2014年12月31日現在）

（単位：米ドル）

名称	数量（株）	通貨	取得金額	評価金額	対純資産 比率(%)
譲渡可能な上場有価証券 株式					
バミューダ諸島					
COSCO Pacific Ltd	477,935	香港ドル	675,334	679,056	2.35
NWS Holdings Ltd	635,813	香港ドル	1,087,976	1,172,252	4.04
Pacific Basin Shipping Ltd	969,000	香港ドル	617,202	391,042	1.35
			2,380,512	2,242,350	7.74
中国					
Angang Steel Co Ltd 'H'	792,000	香港ドル	492,722	673,945	2.33
China Oilfield Services Ltd 'H'	252,000	香港ドル	453,243	437,322	1.51
China Petroleum & Chemical Corp 'H'	1,530,200	香港ドル	1,309,413	1,233,058	4.25
Guangshen Railway Co Ltd 'H'	1,458,000	香港ドル	695,428	708,687	2.45
PetroChina Co Ltd 'H'	548,000	香港ドル	802,340	607,623	2.10
Shanghai Electric Group Co Ltd 'H'	1,294,000	香港ドル	593,454	689,033	2.38
			4,346,600	4,349,668	15.02
香港					
China Mobile Ltd	205,000	香港ドル	2,297,350	2,391,983	8.27
China Resources Power Holdings Co Ltd	463,600	香港ドル	1,441,391	1,195,443	4.13
CNOOC Ltd	618,000	香港ドル	1,059,913	831,849	2.87
Hutchison Whampoa Ltd	55,000	香港ドル	610,572	632,887	2.19
			5,409,226	5,052,162	17.46
インド					
Bharti Airtel Ltd	166,294	インドルピー	1,617,231	929,176	3.21
GAIL India Ltd	76,322	インドルピー	666,322	537,812	1.86
NTPC Ltd	181,839	インドルピー	917,347	414,825	1.43
Reliance Industries Ltd	102,680	インドルピー	2,088,617	1,449,614	5.00
			5,289,517	3,331,427	11.50
インドネシア					
Indosat Tbk PT	795,400	インドネシアルピア	456,676	260,103	0.90
Vale Indonesia Tbk PT	1,487,300	インドネシアルピア	824,023	435,321	1.50
			1,280,699	695,424	2.40
マレーシア					
Petronas Chemicals Group Bhd	537,200	マレーシアリングット	1,075,967	837,335	2.89
フィリピン					
Energy Development Corp/Philippines	5,305,600	フィリピンペソ	642,039	972,579	3.36
Manila Water Co Inc	223,400	フィリピンペソ	76,903	144,830	0.50
Metro Pacific Investments Corp	8,284,000	フィリピンペソ	499,101	851,873	2.94
			1,218,043	1,969,282	6.80

(単位：米ドル)

名称	数量 (株)	通貨	取得金額	評価金額	対純資産 比率(%)
シンガポール Sembcorp Industries Ltd	312,000	シンガポールドル	1,179,862	1,049,043	3.62
韓国					
Hyundai Engineering & Construction Co Ltd	7,901	韓国ウォン	345,138	302,627	1.05
Korea Electric Power Corp	40,810	韓国ウォン	1,678,931	1,585,396	5.48
Macquarie Korea Infrastructure Fund	129,662	韓国ウォン	856,987	808,065	2.79
POSCO	4,833	韓国ウォン	1,768,406	1,211,383	4.18
S1 Corp	17,834	韓国ウォン	1,062,103	1,155,239	3.99
SK Innovation Co Ltd	8,632	韓国ウォン	1,161,192	668,319	2.31
			6,872,757	5,731,029	19.80
台湾					
Chunghwa Telecom Co Ltd	367,948	台湾ドル	867,057	1,094,460	3.78
Taiwan Secom Co Ltd	409,390	台湾ドル	770,730	1,075,228	3.71
			1,637,787	2,169,688	7.49
タイ					
Banpu PCL (Foreign Market) Reg	367,000	タイバーツ	352,033	277,760	0.96
TTW PCL (Foreign Market)	2,620,400	タイバーツ	365,462	923,910	3.19
			717,495	1,201,670	4.15
合計			31,408,465	28,629,078	98.87
投資総額			31,408,465	28,629,078	98.87
その他資産				327,840	1.13
純資産				28,956,918	100.00

「イーストスプリング・アジア・インフラ株式ファンド（3ヵ月決算型）／（年2回決算型）」が組入れている「イーストスプリング国内債券ファンド（国債）追加型I（適格機関投資家向け）」の直近の決算にかかる運用状況をご報告申し上げます。

イーストスプリング国内債券ファンド（国債）追加型I（適格機関投資家向け）

最近5期の運用実績

決 算 期	基準価額 (分配落)	税 込 分 配 金	期 中 騰 落 率	BofAメリルリンチ国債インデックス (1-10年債) (ベンチマーク)		債 券 組 入 比 率	純 資 産 総 額
				(1-10年債) (ベンチマーク)	期 中 騰 落 率		
9期 (2011年2月25日)	円 10,366	円 0	% 0.7	274.800	% 0.8	% 97.8	百万円 3,069
10期 (2012年2月27日)	10,571	0	2.0	280.375	2.0	99.6	3,025
11期 (2013年2月25日)	10,721	0	1.4	284.628	1.5	99.3	2,878
12期 (2014年2月25日)	10,769	0	0.4	286.542	0.7	99.1	1,394
13期 (2015年2月25日)	10,850	0	0.8	289.835	1.1	94.0	1,085

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込みです。

(注2) 純資産総額の単位未満は四捨五入です。

(注3) バンクオブアメリカ・メリルリンチは、バンクオブアメリカ・メリルリンチのインデックスを何ら変更することなく使用することを許諾しており、バンクオブアメリカ・メリルリンチのインデックスに関し何らの表明をするものではなく、バンクオブアメリカ・メリルリンチのインデックスまたはそれに含まれ、関連しもしくは得られるデータの適合性、内容、正確性、適時性および完全性について保証するものではありません。また、バンクオブアメリカ・メリルリンチはイーストスプリング・インベストメンツ株式会社によるバンクオブアメリカ・メリルリンチのインデックスの使用に関し一切の責任を負うものではなく、イーストスプリング・インベストメンツ株式会社またはその商品またはサービスについて何らの支持、是認または推奨をするものではありません。（バンクオブアメリカ・メリルリンチのインデックスについては、以下同じ。）

当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基準価額		BofAメリルリンチ国債インデックス (1-10年債) (ベンチマーク)		債 券 組 入 比 率
	騰 落 率	騰 落 率			
(期 首) 2014年2月25日	円 10,769	% -	286.542	% -	% 99.1
2月末	10,770	0.0	286.585	0.0	99.1
3月末	10,757	△0.1	286.338	△0.1	96.5
4月末	10,763	△0.1	286.585	0.0	99.7
5月末	10,777	0.1	287.010	0.2	99.6
6月末	10,792	0.2	287.416	0.3	99.5
7月末	10,800	0.3	287.702	0.4	99.3
8月末	10,805	0.3	287.943	0.5	99.3
9月末	10,802	0.3	287.928	0.5	98.9
10月末	10,827	0.5	288.662	0.7	96.6
11月末	10,843	0.7	289.158	0.9	96.5
12月末	10,881	1.0	290.256	1.3	99.2
2015年1月末	10,873	1.0	290.279	1.3	99.4
(期 末) 2015年2月25日	円 10,850	% 0.8	289.835	% 1.1	% 94.0

(注) 騰落率は期首比です。

1万口当たりの費用明細

項目	当期 2014/2/26 ～2015/2/25		項目の概要
	金額	比率	
(a) 信託報酬	23円	0.216%	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は、10,807円です。
(投信会社)	(15)	(0.142)	委託した資金の運用の対価
(販売会社)	(2)	(0.021)	交付運用報告書等各种書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受託会社)	(6)	(0.053)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) その他費用	3	0.027	(b) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
(監査費用)	(3)	(0.027)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合計	26	0.243	

(注1) 期中の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

当期中の売買および取引の状況 (2014年2月26日から2015年2月25日まで)

公社債

		買 付 額	売 付 額
		千円	千円
国内	債 証 券	186,088	508,289 (35,000)

(注1) 金額は受渡し代金です(経過利子分は含まれておりません。)

(注2) 単位未満は切捨てです。

(注3) ()内は償還による減少分で、上段の数字には含まれておりません。

当期中の主要な売買銘柄 (2014年2月26日から2015年2月25日まで)

公社債

買 付		売 付	
銘	柄 金 額	銘	柄 金 額
		千円	
第72回 利付国債 (20年)	59,097	第280回 利付国債 (10年)	103,584
第67回 利付国債 (20年)	50,980	第328回 利付国債 (10年)	101,216
第69回 利付国債 (20年)	45,786	第102回 利付国債 (5年)	80,414
第99回 利付国債 (5年)	30,224	第308回 利付国債 (10年)	58,570
		第72回 利付国債 (20年)	58,067
		第277回 利付国債 (10年)	56,009
		第95回 利付国債 (5年)	50,427

(注1) 金額は受渡し代金です(経過利子分は含まれておりません。)

(注2) 金額の単位未満は切捨てです。

利害関係人との取引状況（2014年2月26日から2015年2月25日まで）

当期中における利害関係人との取引はありません。

（注）利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

組入資産の明細

公社債

(A) 種類別開示

国内（邦貨建）公社債

組入有価証券明細表

(2015年2月25日現在)

区 分	額 面 金 額	評 価 額	組 入 比 率	う ち B B 格 以 下 組 入 比 率	残 存 期 間 別 組 入 比 率		
					5 年 以 上	2 年 以 上	2 年 未 満
	千円	千円	%	%	%	%	%
国債証券	953,000	1,019,675	94.0	—	44.3	30.3	19.3
合 計	953,000	1,019,675	94.0	—	44.3	30.3	19.3

（注1）組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合です。

（注2）額面金額・評価額の単位未満は切捨てです。

（注3）—印は組入れなしです。

(B) 個別銘柄開示

国内（邦貨建）公社債

組入有価証券明細表

(2015年2月25日現在)

種 類	銘	柄	利 率	額 面 金 額	評 価 額	償 還 年 月 日
			%	千円	千円	
国債証券	第99回	利付国債（5年）	0.4	30,000	30,177	2016/09/20
	第101回	利付国債（5年）	0.4	34,000	34,233	2016/12/20
	第102回	利付国債（5年）	0.3	10,000	10,050	2016/12/20
	第110回	利付国債（5年）	0.3	10,000	10,082	2018/03/20
	第277回	利付国債（10年）	1.6	37,000	37,621	2016/03/20
	第280回	利付国債（10年）	1.9	45,000	46,110	2016/06/20
	第284回	利付国債（10年）	1.7	50,000	51,520	2016/12/20
	第285回	利付国債（10年）	1.7	80,000	82,764	2017/03/20
	第295回	利付国債（10年）	1.5	30,000	31,452	2018/06/20
	第298回	利付国債（10年）	1.3	50,000	52,377	2018/12/20
	第300回	利付国債（10年）	1.5	30,000	31,748	2019/03/20
	第301回	利付国債（10年）	1.5	25,000	26,536	2019/06/20
	第303回	利付国債（10年）	1.4	30,000	31,799	2019/09/20
	第305回	利付国債（10年）	1.3	7,000	7,405	2019/12/20

種 類	銘 柄	利 率	額 面 金 額	評 価 額	償 還 年 月 日
		%	千円	千円	
国債証券	第306回 利付国債 (10年)	1.4	20,000	21,329	2020/03/20
	第307回 利付国債 (10年)	1.3	35,000	37,150	2020/03/20
	第310回 利付国債 (10年)	1.0	25,000	26,273	2020/09/20
	第311回 利付国債 (10年)	0.8	50,000	51,993	2020/09/20
	第315回 利付国債 (10年)	1.2	20,000	21,406	2021/06/20
	第325回 利付国債 (10年)	0.8	20,000	20,940	2022/09/20
	第42回 利付国債 (20年)	2.6	50,000	55,129	2019/03/20
	第47回 利付国債 (20年)	2.2	40,000	44,722	2020/09/21
	第48回 利付国債 (20年)	2.5	50,000	57,035	2020/12/21
	第53回 利付国債 (20年)	2.1	40,000	45,411	2021/12/20
	第63回 利付国債 (20年)	1.8	50,000	56,446	2023/06/20
	第67回 利付国債 (20年)	1.9	45,000	51,484	2024/03/20
	第69回 利付国債 (20年)	2.1	40,000	46,471	2024/03/20
	合 計			953,000	1,019,675

(注) 額面金額・評価額の単位未満は切捨てです。

投資信託財産の構成

(2015年2月25日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
公 社 債	千円 1,019,675	% 93.8
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	67,036	6.2
投 資 信 託 財 産 総 額	1,086,711	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨てです。

資産、負債、元本および基準価額の状況

(2015年2月25日現在)

項 目	当 期 末
(A) 資 産	1,086,711,968円
コール・ローン等	62,181,315
公 社 債(評価額)	1,019,675,870
未 収 利 息	4,819,605
前 払 費 用	35,178
(B) 負 債	1,488,813
未 払 信 託 報 酬	1,173,813
そ の 他 未 払 費 用	315,000
(C) 純資産総額(A-B)	1,085,223,155
元 本	1,000,181,732
次 期 繰 越 損 益 金	85,041,423
(D) 受 益 権 総 口 数	1,000,181,732口
1 万 口 当 た り 基 準 価 額 (C/D)	10,850円

<注記事項>

(貸借対照表関係)

期首元本額	1,295,094,103円
期中追加設定元本額	24,976,363円
期中一部解約元本額	319,888,734円

損益の状況

当期 (自2014年2月26日 至2015年2月25日)

項 目	当 期
(A) 配 当 等 収 益	15,423,565円
受 取 利 息	15,423,565
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	△ 4,530,863
売 買 益	4,455,245
売 買 損	△ 8,986,108
(C) 信 託 報 酬 等	△ 2,853,592
(D) 当期損益金(A+B+C)	8,039,110
(E) 前期繰越損益金	68,497,766
(F) 追加信託差損益金	8,504,547
(配当等相当額)	(52,164,515)
(売買損益相当額)	(△43,659,968)
(G) 合 計 (D+E+F)	85,041,423
(H) 収 益 分 配 金	0
次 期 繰 越 損 益 金 (G+H)	85,041,423
追 加 信 託 差 損 益 金	8,504,547
(配当等相当額)	(52,164,515)
(売買損益相当額)	(△43,659,968)
分 配 準 備 積 立 金	87,588,119
繰 越 損 益 金	△11,051,243

(注1) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注2) 損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注3) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差引いた差額分をいいます。

(注4) 分配金の計算過程
 計算期間末における費用控除後の配当等収益 (12,569,973円)、費用控除後の有価証券売買等損益 (0円)、信託約款に規定する収益調整金 (52,164,515円) および分配準備積立金 (75,018,146円) より、分配対象収益は139,752,634円 (10,000口当たり1,397円) ですが、当期に分配した金額はありません。